

新しい価値観を発見する場

堀井 当分科会前半は、まちなかにおける学びの場づくりを推進されている方々の、実際の取り組みをご紹介します。まずは、大阪をワークショップシティにしようと活動されている小原さんから。

小原 平成21年の夏に、『200DOORS (トゥーハンドレッド・ドアーズ)』というワークショップイベントを開催しました。200種類のワークショップが1講座ワンコイン(500円)で受けられるというもの、「DOORS」とは、体験を通して人々とふれあい、新しい価値観を見つけるための扉を意味しています。1年目は38講座でしたが、2年目に100、そして昨年は200講座にまで増えました。将来は『1000DOORS』にしたいと思っています。主催はIWF(インターナショナル・ワークショップ・フェスティバル)実行委員会と大阪21世紀協会、関西広域機構。昨年は古典芸能やヨガ、ゴスペル、貯蓄術などさまざまな分野のワークショップを、大阪市中央公会堂や芝川ビルなど市内7か所で開催しました。自分に向いているかどうか分からなくても、試



小原氏

しに体験できる手軽さが珍しいとあって、テレビや雑誌などにも取り上げられました。そのいくつかをご紹介します(以下、テレビニュースの録画を紹介)。

大阪から世界へ、世界から大阪へ

木田 私はこれまで、「誰の演奏会に行ったら良いのか」「どんなオペラを聴いたら良いのか」という相談を多く受けてきました。クラシックコンサートは入場料が高いため、

木田氏



失敗したくないという気持ち強いんですね。そこで、映画を観るような低料金で鑑賞でき、好きな楽器や作

曲家、演奏家をご自身で確かめていただきたいという気持ちから、2004年に『朝の光のクラシック』をはじめました。「若い才能を大阪から世界へ、世界から大阪へ」という願いを込め、関西の多くのアーティストを紹介して2010年3月で51回目。これに出演した多くの演奏家が、その後世界で輝かしい成績を上げています。例えば16歳でハノーバー国際バイオリンコンクール1位になった三浦文彰さんは、『朝の光のクラシック』に出演した当時はまだ13歳でした。

また、2005年には大阪市の後援で『咲くやこの花賞』や『大阪文化祭賞』の受賞者も加わって『中之島国際音楽祭』を開催しました。さらには大阪市の姉妹都市である上海音楽院や上海交響楽団などとのネットワーク作りや、2009年には国際音楽祭で四天王寺雅楽と韓国の国立国楽院との共演を果たしました。「私たちは文化を産業だと捉えている。文化立国を目指して、文化は消費ではなく投資だ」という韓国文化院の方の言葉にはとっちらかっています。これからもこうした活動を続けていきたいと思っています。

まちそのものがメディア

江 京阪中之島線の開業(2008年10月)に合わせて、広告代理店から中之島をPRする情報誌を作らないかといわれ、『月刊島民』を創刊しました。これまでのまちの情報誌といえば、消費にアクセスす

江氏



るだけのものでした。美味しいものや感じのいい風景やカフェなどを、メディアのサイズに合わせて抜いてくるんです。テ

レビが放送時間に合わせて情報を編集するのと同じですね。しかし、中之島というエリアを考えたとき、まちという場そのものがメディアではないかと思いました。『月刊島民』で中之島の近代建築や橋、中之島を舞台にした小説などを特集しているのはそのためです。そしてさらに、中之島という学びの場を共有しようと『ナカノシマ大学』を構想しました。幸い大阪大学の鷺田清一総長のご賛同を得て、平松邦夫市長にプレゼンテーションを行ったところ、「面白い」と乗ってもらえました。そうして2009年10月に大阪市中央公会堂で平松市長や鷺田総長、内田樹神戸女学院大学教授たちによるキックオフセミナーを開催。はたしてどれだけの人が集まるかと思っていたら、『月刊島民』誌上での告知が効いて、500人もの大盛況。これに手応えを得て、以後毎月1回開講しています。

社学連携で大学が市民とつながる

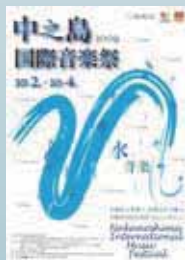
堀井 大学は社会にどのような学びの場をつくり実践しておられるのでしょうか。金水 大阪大学が実践する社学連携について、『コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)』と『21世紀懐徳堂』の取り組みをお話いたします。CSCDは、医者と患者や建築家と施主のように、専門家と非専門家のコミュニケーション回路をいかに設定するかを研究する機関で、鷺田清一総長のリーダーシップのもと平成17年に設立しました。この背景には、科学



平成20年開催『1000DOORS』の講座風景

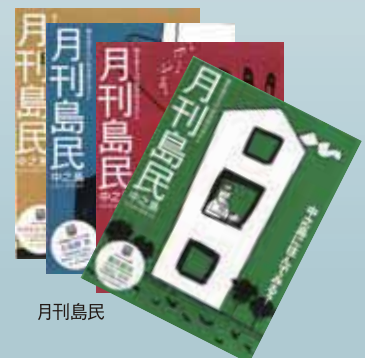


『200DOORS』パンフレット(2009年)



中之島国際音楽祭(2009年10月2~4日)

『朝の光のクラシック』や『中之島国際音楽祭』『ナカノシマ大学』などの会場となる大阪市中央公会堂



月刊島民